



北区の部屋だより

2025年9月第193号



刊行物登録番号 6-2-165

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL03-5993-1125 令和7年9月発行

北区
こぼれ話
第193回

伊香保の疎開先で 特攻隊員を見送る



昭和19年(1944)8月、東京では集団学童疎開が始まりました。王子区や滝野川区の国民学校3年生以上は、群馬県の旅館や寺院に疎開しました。さらに、翌年4月からは、1年生以上のほとんどの児童が疎開の対象になりました。

昭和19年度の王子第三国民学校の疎開先は、伊香保の三つの旅館でした。その一つが、塚越旅館(現、温泉宿 塚越屋七兵衛)です(『創立四十周年記念誌』王子第三小学校)。昭和20年(1945)3月13日、疎開児童たちの夕食が終った頃、陸軍の住田乾太郎・小林敏男以下、陸軍特攻隊員計27名が塚越旅館に到着しました。出撃前の一泊を伊香保の温泉旅館で過ごすためでした。

旅館の従業員だけでは人手が足りなかったため、疎開児童の世話をするために同行していた寮母さんたちも、宴会の手助けをしたそうです。特攻隊員の宴会なので、寮母さんは恐る恐るお手伝いをしたのですが、実際には歌と笑い声に終始した和やかなものでした。「そうですか、寮母さんか、済まんですなあ、一つ子供たちは立派に育てて下さいよ」と、寮母さんは、隊員から礼と励ましの言葉をかけられたのでした。そして、酒が進んでくると「やるぞッ」と口々に決意を述べたと言います。隊員たちは、子どもたちと歌を歌い、軍服を着せるなど楽しく過ごしました。

当時4年生だった男性は、後に「特攻隊の人達が、出撃前に遊びに来て、夜遅くまで特攻隊の歌を歌ったあの夜のことが、今でも走馬灯のように、思い出されてくる」と回想しています(『創立六十周年記念誌』同小学校)。

翌朝、疎開児童たちは、特攻隊員と一緒に写真を撮影しました。隊員たちは、子どもたちに「勉強するんだぞ」と言葉をかけ頭をなでたそうです。隊員たちが旅館を去る時、子どもたちは「万歳」と叫び見送りました。

隊員たちは、遺書にも似た寄せ書きを旅館に残していきました。そして、この特攻隊員と疎開児童の交流の様子は、地元の『上毛新聞』昭和20年6月3日で詳細に報じられ、写真も掲載されました。

伊香保を後にした特攻隊員たちは、4月6日、沖縄特攻作戦に出撃し若い命を散らしていきました。その後、塚越旅館は高崎陸軍病院分院となり(前掲、『上毛新聞』)、疎開児童はそこから別の寺院へ移されていきました(前掲『創立六十周年記念誌』)。



【地域資料アドバイザー 黒川徳男】

参考文献：内藤幾次『学童疎開』(同成社、2021年)

北区の部屋
今月の展示



「田端」～昭和の原風景～

■展示期間 8月29日（金）～9月24日（水）

■展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー

今年、令和7年（2025）は、昭和100年そして戦後80年にあたります。東京近郊地域にとって、昭和は大正12年（1923）の関東大震災から始まったと言う説があります。それは、都心や下町から周辺部へ人口が移動したためです。つまり、震災をきっかけに、東京の周辺部は都市化したというのです。

北区にとって、それを象徴的に示しているのが田端という地域です。関東大震災で上野駅が焼失したため、避難者は田端駅へ殺到しました。また、昭和3年（1928）には、京浜線電車が田端駅まで延伸されました。田端の高台は、交通の便の良い住宅街として発展していきました。その一方で、田端機関区や田端操車場の周辺は、機関車の黒煙と走行音のため、住環境としては良好とは言えず、むしろ工場の街へ変化していきました。今回の展示では、そんな田端の原風景と言うべき写真をご覧ください



田端大橋 昭和37年頃 倉田正義氏提供



図書館刊行物のご案内

「北区の歴史 はじめの一步」や「北区こぼれ話」などの図書館刊行物は、北区役所や書店など、図書館以外でもご購入いただくことができます。ぜひ、ご利用ください。

- 図書館刊行物
- ◆北区の歴史 はじめの一步 改訂版（浮間、赤羽東、赤羽西、王子東、滝野川東、滝野川西地区編）…… 各400円
 - ◆北区の歴史 はじめの一步（王子西地区編）…………… 310円
 - ◆北区こぼれ話（1・2・3）……………各200円
 - ◆TOKYO 北区のKITA みち（日本語・英語版）…………… 各500円



- 販売場所
- *北区立中央図書館、滝野川図書館、赤羽図書館の3館
 - *北区役所区政資料室（本庁舎1階）、北区飛鳥山博物館
 - *区内書店（下記4店舗）



1	ブックスページワン・イトヨがト赤羽店 北区赤羽西1-7-1-6F（☎03-5993-7330）	3	文書堂（※「KITA みち」のみ販売） 北区赤羽北2-11-18（☎03-3900-5950）
2	ビーブックス（※「KITA みち」のみ販売） 北区豊島5-4-1-111（☎03-3914-1157）	4	フタバ書店（※「KITA みち」のみ販売） 北区西ヶ原1-55-12（☎03-6681-0288）



☆☆☆ 北区の歴史、興味ありませんか ☆☆☆

「北区の歴史を学ぶ会」のご案内

- 開催日時 毎月第4火曜日 午後2時～4時
- 開催場所 中央図書館3階ホール／区民活動コーナー



北区図書館活動区民の会では、図書館と協働でさまざまな取り組みを行っています。そのうちのひとつ、地域資料部では、北区の地域資料を考える上で「まずは北区の歴史を学ぼう！」と、「北区の歴史を学ぶ会」を開催しています。

月に一度集まり、参加者自身が北区を題材に調べ上げた研究成果を発表したり、定点観測を行ったりと、北区をさまざまな切り口で取り上げ学んでいます。「北区の部屋」の地域資料専門員も参加していますので、興味深い話が聞けるかもしれません。聴講だけでもOKです。まずは一度、来てみませんか？

※お問い合わせは中央図書館内、区民の会事務局（☎03-5993-1125）まで